

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月24日更新

事務事業名	パーク&ライド事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	政策部	課長名	大茂 竜二
	施策	4	公共交通の充実			所属課	企画課	担当者名	吉田 健悟
	施策の柱	12	公共交通の利便性の向上			所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11468	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	国道3号熊本北バイパス高架下の新須屋駅に隣接して整備したパーク&ライド駐車場を運営・維持管理する事業である。整備規模は、アスファルト舗装約2,300㎡、収容台数72台である。施設内には照明設備を有し、平成21年7月から合志市地域公共交通計画に基づく実証実験として運用を開始した。北バイパス新須屋駅周辺は、合志市総合計画にある交通結節点強化事業の一つとして位置づけられ、熊本都市圏都市交通アクションプログラムにおいても交通結節点としての機能強化が謳われている。平成20年3月の国道3号熊本北バイパスの供用開始にあわせ、平成19年8月に熊本電鉄が新須屋駅を北バイパス高架下へ移設した。国道3号熊本北バイパスの全線開通と路線バス運行や本市公共交通事業が本格化することにより、さらに南部の交通結節点として重要性が高まると考えられ、駅利用者の利便性向上とエコ通勤、交通渋滞緩和を目的として本駐車場を整備した。 平成25年度実施優先度評価会議において、平成26年度から新須屋駅駐輪場維持管理事業をこの事業に統合し、名称を「パーク&ライド事業」に改めることとなった。
【業務の流れ】	施設の運営・維持管理と利用啓発活動を行なう業務である。
【主な予算費目】	特になし
【意見や要望】	市道須屋線の交通規制により、当該施設へのアクセスが不便との意見があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	・熊本電鉄による施設の運営、維持管理に対する報告処理を行った。 ・熊本都市圏協議会と連携して啓発事業(街頭での啓発グッズの配布)を実施した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 協議と啓発活動の回数	予算の主な増減の理由 ・ 予算計上なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	(単位) 人 ア: 利用者数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) バス・電車の利用がしやすくなる。	(単位) % ア: P & Rの利用率	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 ・パーク&ライドの利用率が向上することは、電車が利用しやすくなる意図の向上に結びつくため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	回	20	20	20	20	20	20	20	20
② 対象指標	ア	人	46	37	62	40	62	62	62	62
③ 成果指標	ア	%	74.2	59.7	90	64.5	90	90	90	90
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	1	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	61	4	9	50	50	50	50	50
	(B)人件費計	千円	243	15	35	185	199	199	199	199
	トータルコスト(A)+(B)	千円	243	15	35	185	199	199	199	199

